

# 新幹線でサッカー観戦

## 長野からツアー 富山の味も堪能

北陸新幹線を利用してサッカー観戦と富山の味覚を楽しむ企画が6日、富山市内であり、長野県の31人が白帰りの

弾丸ツアーで富山の夜を満喫した。主催したNPO法人富山スポーツコミュニケーションズ(佐伯仁更理事長は、新しいスポーツリズムと

して他のプロスポーツへの拡大を目指す。【関連記事13面】  
県総合運動公園陸上競技場のJ3カタレ富山―AC長野パルセイロ戦に合わせ、同クラブの協力で実現した。一行は夕方、北陸新幹線で富山駅に到着。午後6時からの試合を観戦後、富山市千石町の「すし居酒屋 大海」で刺し身や氷見牛、地酒を味わい、同9時58分発の最終列車で長

野へ帰った。  
5年前から長野サポーターという長野市の主婦、田畑房江さん(78)は家族3人で参加。「最高のもてなしを受けた。また来たい」と満足そう。佐伯理事長は「試合の後にも楽しみがあることで新しいファンを開拓できる」と手応えを話した。



新鮮な刺し身を堪能する長野サポーター  
＝富山市千石町の居酒屋